

2020年度(令和2年)
事業計画書
(2020年4月1日～2021年3月31日)

2020. 3. 19



公益財団法人

日本ユースリーダー協会

DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

2020年度は、3カ年計画の2年目、新たなステップ

<基本方針>

- ・ 活動の理念である『飛び出せ若者』の合言葉を継承
海外研修の送り出しと受入れによって、若い世代の国際交流の懸け橋を担っていく
- ・ 本年度の重点方針として、各事業間のつながりをより一層深めていくことに注力していく。
我々とともに「学ぶ者」「励まされる者」、そしてそれを「応援する者」との間の『つなぎ』を、各事業間、協会と会員企業間、東京と地方、そしてASEANへとつなげて行く「明日のリーダー」育成に向けて、各事業計画をビルドアップしていく

3カ年計画(2019~2021年度)

<基本計画>

- ① 「リーダー育成」「社会啓発」「つなぐ」の3つの事業を柱とする
- ② 日本とアジアの次代のユースリーダーを「年間を通して育成」する
- ③ ASEANとの交流ネットワーク(AJAJFA-21)の具体的な活用策をすすめる
- ④ 各事業間のつながり、さらには会員企業、地方、ASEANとのつながりを深めていく

◆若者との合言葉は

飛び出せ若者！！

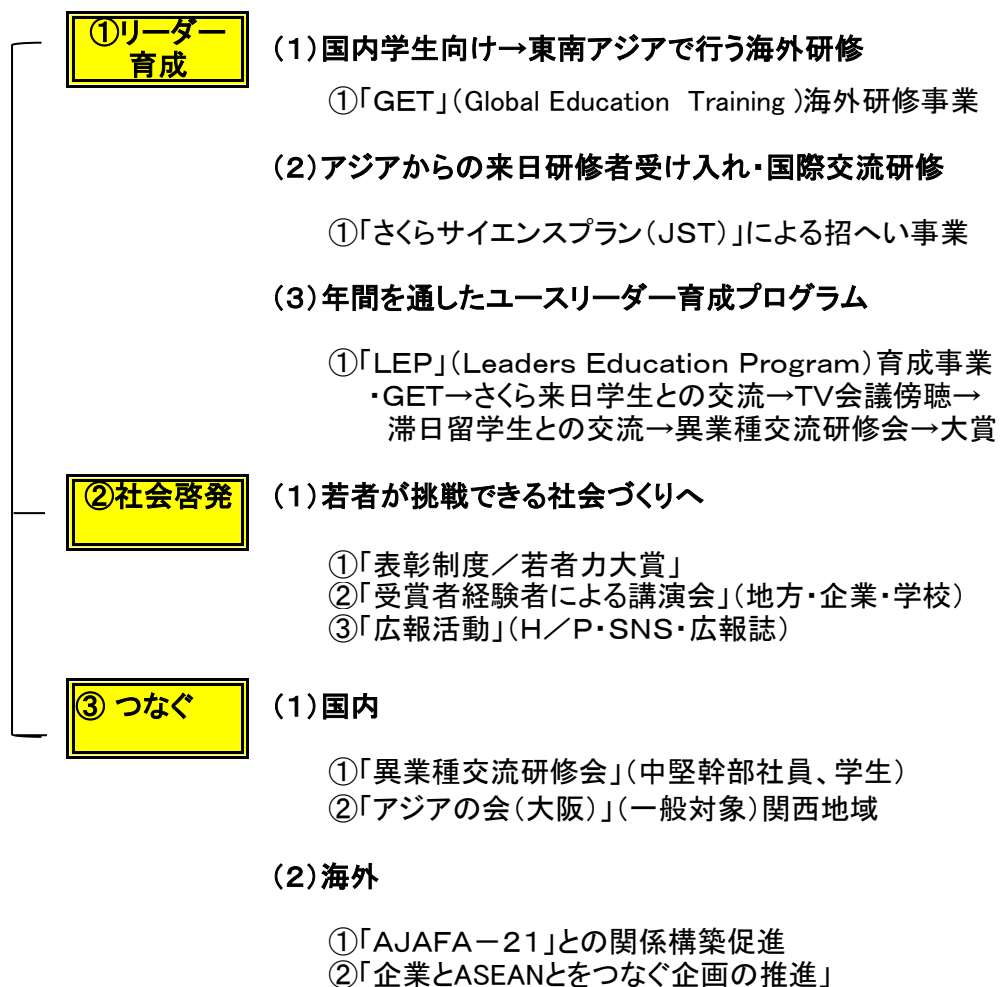
◆活動のKey Wordは

つ・な・ぐ

2020年度 事業計画基本方針

- ★2020年の目標
- (1) 海外研修: 日本とアジアの学生研修を91名を目標とする
「GET(40名)」「さくら(51名)」
 - (2) 若者ネットワーク: 30名のGET, さくら参加学生のLEP登録を目指す
 - (3) 事業規模: 年間5,000万円規模の維持。
事業収支: 適正基準の維持(収支予算±ゼロ)

★事業計画 : 事業はすべて公益事業とし、3つの目的をもって構成する。



- ★組織体制
- ◎ 運営幹事会＝実質審議を行う執行理事会議として毎月開催
 - ◎ 事業委員会＝担当理事による委員会執行体制での事業推進

- ★財政基盤強化
- ◎ 法人会員の維持拡大
 - ◎ 個人会員の拡大
 - ◎ 助成金・補助金事業の開拓 → 外務省・文科省・JICA・JSTほか
 - ◎ クラウド・ファンディング活用 → GET基金／大賞基金等の検討

2020年度 事業計画施策

1. リーダー育成事業

◎事業収支予算: ▲1,100千円(2019年度見込 ▲1,094千円)

① 「東南アジアで行う国内学生向け海外研修」

◇事業収支予算: ▲1,600千円(収入6,800・支出8,400)(2019年見込: ▲1,690千円)

(1) 「GET(Global Education Training)」

当協会の中核事業として、日本の高校生・大学生を対象にした海外体験型研修事業(東南アジア)を継続して実施する
AJAFA-21友好団体の現地協力体制の連携をさらに強化する
参加学生の集客力を高めるため、遠隔地の学生への参加要件を考慮する

- ◆ (1) 研修実施・・・夏(8月):1コース・春(3月):1コース (合計40名)
- ◆ (2) プログラムの改善・・・過去参加者のフィードバックを参照
- ◆ (3) 研修先・・・夏(ベトナム:8/20-27)(高校生・大学生)
春(インドネシア:3/20-27)(高校生・大学生)
- ◆ (4) 募集計画・・・学校(教師)ルート/SNS/地方(育てる会・商工会議所)
会員企業社員子弟向けアプローチも継続
- ◆ (5) 参加費(収支計画)・・・コース別設定(協会負担@4万/1人)(年▲160万)
- ◆ (6) 安全管理対策・・・現地スタッフ体制、危機発生時対応(OSSMA)等

② 「アジアからの来日研修・国際交流」

(1) 「さくらサイエンスプラン(JST)」(日本・アジア青少年サイエンス交流補助事業)

◇事業収支: +600千円(収入11,400・支出10,800)(2019年度見込: +646千円)

- ◆ 「さくらサイエンスプラン(JST)」の助成金申請を前提に研修計画を組む
本年度は、AJAFA-21 加盟国から3か国を計画する
各コース17名×3・・・計51名。
- ◆ (1) 企画提案・助成金申請 ①3月初申請→実施: 6月(ベトナム・17名)
②6月初申請→実施: 10月(タイ・17名)
③9月初申請→実施: 2月(フィリピン・17名)
- ◆ (2) 研修プログラム ・同世代交流を重点化(学校/GET・OB)
・協力機関拡大(体験型研修/日鉄エンジ・リバネス等)

③ 「リーダー育成プログラム(LEP)」(Leaders Education Program)

重点施策

◇事業収支: ▲100千円(収入000・支出100)(2019年度見込み ▲50千円)

(1) 「LEP(Leaders Education Program)」

GETから始めるリーダー育成プログラムLEPを強力的に推進する
推進のための基本的なルール、システム作りを完成させる

- ◆ GET参加者(新規・過去)に対して、協会の各種研修機会を提供する
- ◆ ①GET～②さくら来日研修生との交流～③滞日留学生との交流～
④AJAFA-21/TV会議傍聴～⑤異業種交流研修会～⑥大賞表彰式
- ◆ GET参加募集要項にLEP導入を明記、LEP活動費の一部助成
- ◆ 通年の育成プログラムとし、年間行事終了後に「修了証」を発行する

2.社会啓発事業

◎事業収支予算:▲2,600千円(2019年度見込▲2,600千円)

「若者が挑戦できる社会づくりへ」

(1)「第12回若者力大賞」

◇事業収支予算:▲1,000千円(収入0・支出1,000)(2019年度:▲1,400千円)

重点施策

- ◆「第12回若者力大賞表彰式」…2021年2月予定
 - (1)選考～審査プロセスの充実…選考委員・審査委員等の新規選考
 - (2)表彰式…参加費・会場規模・イベント内容の検討
 - (3)受賞者支援スキームの検討…若者力支援ファンド など
 - (4)イベント協賛の検討…広告スポンサー・特別賞 など

(2)「企業や地方とつなぐ 受賞経験者による講演会」

◇事業収支予算:▲100千円(収入0・支出100)(2019年度:0千円)

受賞経験者の貴重な社会貢献活動を広く、継続して伝えて行く事を目的に協会の事業に協賛してもらっている関係者への講演会開催促進

- ◆本年度は、社会貢献活動(CSRなど)に関心の高い企業及び学校での開催に重点を置き、最初の講演会を目指す。
- ◆過去受賞者のプロフィールを作成(現在の活動内容など)して、出演の可否を本人に確認して、公開する。
- ◆経費(謝金・交通費・会場費)は受益者負担で賄う。

(3)「広報活動」

◇事業収支予算:▲1,500千円(2019年度見込:▲1,500千円)

年間の広報計画(スケジュール・発信内容等)を組み立て、各種の広報ツールを効果的に活用して、発信力を高める

1)「広報誌:YOUTH LEADER」の発行／協会案内(小リーフ)

◇事業収支予算:▲1,500千円(2019年度見込:▲1,500千円)

- ◆年2回(5月・11月)発行、上半期及び下半期の活動内容を報告。
発行部数…2,000部(役員・会員・関係機関・協会活動参加者 等)

2)「ホームページ／SNSの活用」

◇事業収支予算:0千円(2019年度見込:0千円)

- ◆協会の情報公開と、広報誌と連動して活動ニュースを随時配信
また各種イベントへの幅広い公募活動にも積極的に活用を図る

3)「会員企業等との広報リンクージ」

◇事業収支予算:0千円(2019年度見込:0千円)

- ◆会員企業のホームページとのリンクージを図る
CSR活動の一環として、協会支援活動のPRにつなげる

3. つなぐ事業

◎事業収支予算: ▲1,000千円(2019年見込: ▲993千円)

①国内

(1)「異業種交流研修会」

◇事業収支予算: ▲100千円(収入120・支出220)(2019年度見込: ▲293千円)

当協会の法人会員をはじめ、企業の中堅幹部社員、学生を対象として、
毎回、斯界を代表する講師を迎えて開催する研修会
本年度もGETに参加した学生にも育成プログラムの一環として、
参加枠を設定する。

- ◆ 2020年度は年間2回(6月・1月予定)の開催を実施する
- ◆ 参加費: 講演会=無料/交流会=3,000円(学生=無料)
- ◆ ①第33回 2020. 6月
- ◆ ②第34回 2021. 1月

(2)「アジアの会(大阪)」

◇事業収支予算: ▲200千円(2019年度見込: ▲200千円)

アジア圏の歴史、文化、そして現在の状況を学ぶ大阪地区での研修会
通算60回を超す息の長い会合を継続している

- ◆ 2020年度も年間4回開催予定: 5月・8月・11月・2月

②海外

(1)「AJAFA-21との交流促進」

◇事業収支予算: ▲600千円(2019年度見込: ▲500千円)

- ◆ 日本で研修を受けたASEAN諸国の研修生のOB会組織「AJAFA-21」の
通年活動への参加と、さらに具体的な活用策を検討する。
- ◆ 2020年度は、「ECM」および「TV会議」は従来通り積極参加。
「RLF」については内容の見直し次第で参加(学生等)の再検討。
- ◆ 新たな活動として、AJAFA-21の一員としての活動と並行して、
加盟各国との個別の交流機会を増やすことに力点を置く。

- (例) {
- (1) フィリピン・・・さくら招へい事業による交流
 - (2) タイ・・・ECM幹事国、さくら招へい事業による交流
 - (3) インドネシア・・・新規GETプログラム(森林火災)
 - (4) ミャンマー・・・GET(農業コース)の計画/法人会員との交流
 - (5) マレーシア・・・GET計画
 - (6) ベトナム・・・高校生来日研修の受入れ→育成プログラムとの連動

(2)「企業(法人会員)とASEAN諸国(国別)をつなぐ企画推進」

◇事業収支予算: ▲100千円(2019年度: 0千円)

AJAFA-21のネットワークを、会員企業に向けてつなぐ機会を設ける。

- ◆ 「AJAFA-21」のホームページの作成支援(タイFYAA)
 - 1). 各団体の国内ポジション・会長のポジション・主要メンバー
 - 2). 各団体に事前アンケートを行い、日本企業に期待することなどを把握
- ◆ 各国への支援
 - 1). 各国からの訪日団との交流会設定

2020年度 事業委員会

◆主要事業は、別に定める委員会運営細則にもとづき、委員会を設置して実施する。
2020年度は、下記の委員会を設置し、委員会活動の活性化を促進する

委員会名	内容	担当(理事・外部)	事務局
<リーダー育成>	①「GET」の企画・実施		
◆委員長	②「さくらサイエンスプラン」の実施		
	②「リーダー育成プログラム」企画実施		
L 理事	④安全／危機管理		
<社会啓発>	①「第12回若者力大賞」選考・表彰		
◆委員長	②「受賞者講演会(企業・地方)」企画		
	③広報活動		
Y 理事			
<つなぐ>	①異業種交流研修会 企画・実施		
◆委員長	②「アジアの会(大阪)」企画・実施		
	③「AJAFA-21」との交流促進		
	④「ASEAN各国と会員企業とのつなぎ」		
	⑤財務・組織強化		
P 理事			

2020年度 組織運営全般

組織運営全般

◎収支予算: ▲107千円(2019年度:+3,648千円)

- ◆内訳
- ◇収入: 32,200千円(会費30,700個人会費500寄附金1,000)★2019: 31,088千円
 - ◇支出: 32,093千円(人件費16,500事務費11,360等 ほかに特別費用として、移転費用、新家賃、退職慰労金等計上)★2019: 27,200千円

(1) ガバナンス

- ① 「評議員会(5月)」「理事会(4月・5月・11月・3月)」「運営幹事会(毎月)」の開催
- 「評議員会」…前年度事業・決算承認／役員選任／定款変更等
 - 「理事会」…前年度事業・決算承認／次年度事業・予算承認／規程変更等
 - 「運営幹事会」…運営全般管理／委員会活動／緊急事案の協議・決定等
- ◆委員: 理事長・副理事長・常務理事・事業委員長・監事 ほか
- 「会計監査」…各月会計監査／事業及び理事の活動監査

(2) 会員管理

- ① 「会員(法人・個人)維持拡大」…GETおよびAJAFA、大賞等具体的活用策検討
- ② 「会長サロン」継続開催…法人会員代表者の理解促進・協力依頼

(3) 事務運営

- ① 「事務局(4名)」+「業務委嘱者(数名)」…人件費: 対前年度減に抑える

(4) 財務・総務関連

- ① 「2020. 5任期満了に伴う役員の改選」
- ② 特別費支出
- 1). 退職慰労金
 - 2). 2020新事務所移転

◆2020年度 総事業予算 (千円)

	(収入)	(支出)	(差額)
◆事業関連(Ⅰ－Ⅲ)	18,320	23,120	▲ 4,800
◆会費・運営費	32,200	27,860	4,340
◆特別費支出	0	4,233	▲ 4,233
合計	50,520	55,213	▲ 4,693



公益財団法人

日本ユースリーダー協会

DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

